

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2022年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第13回講義

建築・地域・環境デザインの課題・方向  
-50年後のふるさと創りをめざして-

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事  
鈴木 大隆 氏

## 鈴木先生からのメッセージ

環境・資源、高齢・少子問題、集中・過疎、災害発生、そして最近では暮らし・産業を脅かす公衆衛生の問題、脱炭素社会の推進とエネルギーの安全保障など、世界、私たちの国そして地方は様々な課題を抱えています。しかし、過去の日本がそうであったように、様々な問題への対応から、新たなチャンスも生まれる可能性もあります。

講義では**主として**建築・都市・地域そして環境デザインの観点から、ものづくりや政策・制度検討、そして東日本大震災からの復興にかかわってきた経験、事例を紹介し、地域が目指すべき方向を一緒に考えていきたいと思えます。

日時： 7月21日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：オープンホールによる対面

鈴木 大隆先生

昭和59年室蘭工業大学修士課程修了。

平成10年東京大学大学院論文博士(工学)取得。

昭和59年室蘭工業大学助手。北海道立寒地住宅都市研究所 研究職員・科長，北海道立北方建築総合研究所(改組により改称)主任研究員，国土交通省 政務三役政策審議室 政策参与(兼務)，北海道立総合研究機構 建築研究本部長，北方建築総合研究所 所長(兼務)を経験され，平成31年4月より現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授